

彙報

2012年度 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部 学生生活実態調査

大見広規^{1)*}、李 相濟²⁾、鹿嶋桃子³⁾、長谷川博亮⁴⁾、
関 朋昭⁵⁾、結城佳子⁴⁾、寺山和幸⁵⁾

¹⁾名寄市立大学保健福祉学部栄養学科、²⁾名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科

³⁾名寄市立大学短期大学部児童学科、⁴⁾名寄市立大学保健福祉学部看護学科

⁵⁾名寄市立大学保健福祉学部教養教育部

1. はじめに

名寄市立大学では2009年6月に全学の学生を対象にして、学生部と学生委員会の合同で「名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の学生生活実態調査」を実施し、その結果を道北地域研究所年報第29号(2011)139~146に公表している。この調査から3年を経過しているが、2011年3月には東日本大震災が発生した。被害が甚大であった東北地方は、比較的多数を占める学生の保護者の居住地であり、学生生活への経済的な影響が考えられる。また、前回の調査で課題となった、自主学習時間の長さもどのように変化しているか確認する事が重要である。これらのことから、2009年と同じ内容で学生生活の実態を把握し、変化を推測するために調査を実施した。

2. 方法

2012年6月に名寄市立大学に在籍する学生のうち休学中のものを除く全員を対象とした。学生部および学生委員会で2009年度に実施した調査と同じ内容であるが、回答をマークシートに改めたものを作成した(参考資料)。必修科目の授業で質問紙と回答用マークシート(セコニックSRS-V1000)を配布し、無記名で回答を求め各自が事務局前の回収箱に投函する方法で回収した。マークシートをマークシートリーダーで読み取り、ExcelおよびSPSSのファイルに変換して分析した。また、2009年度調査のデータと比較検討した。分析は統計処理用プログラムソフトDr. SPSS II for Windows 11.0.1Jを用い、単純集計とクロス集計を行った。

3. 結果と考察

表1に調査対象者数と回答者数を示す。全体の回収率は26.2%しかなく、2009年度調査より回収率は極めてよくなかった。回答用マークシートの回収を各自が投函する方法としたことが原因であると思われる。また、回答者の在籍区分、学年の比率も2009年度とは異なっていた(表2)。表3に所属・学年別住居形態を示す。2009年度調査のように、保健福祉学部学生では学年が進めば下宿に居住している割合が減少する傾向にあった。学部学生では2009年度調査よりアパートに居住する割合が増加していたが、短期大学部学生はアパート居住割合が減少し、下宿居住が増加していた。ただし、短期大学部学生の回答が少ないため、明確なことは不明である。表4に所属・学年別の高校卒業時居住地(道内出身か道外出身か)を示す。2009年度調査と同じ傾向で、保健福祉学部学生は約30%以上が道外出身、短期大学部学生にはほとんど道外出身がいなかった。

表5に所属・学年別の収入状況を示す。家庭からの給付・仕送り、奨学金等公的援助、定期的アルバイトによる収入、その他の臨時収入いずれも2009年度調査と有意な差はなかったが、貯蓄の取り崩しが約2倍に、合計金額が若干増加していた(表6)。奨学金は短大学生より学部学生のほうが多かった。アルバイト収入は

*責任著者

住所 〒096-8641 北海道名寄市西4条北8丁目1番地

E-mail: hiohmi@nayoro.ac.jp

学部学生2、3年生において多かった。アルバイト就労時間が2、3年生において長かったことが関連していると推察される。貯蓄の取り崩しによって収入の穴埋めをしている者は回答者159名中63名(39.6%)にものぼり、2009年度調査より増加がみられた。表7に家からの仕送りの所属・学年別度数分布を示す。最も多かったのは0~29千円であり、なかでも約30%は仕送りが0千円と回答していた。平均の仕送り金額は 38.0 ± 36.7 千円であり、2009年度調査より明らかに減少がみられた。表8に所属・学年別の支出状況を示す。2009年度より就学代、食費、住居・光熱費、娯楽嗜好費、その他日常費が増加していた。娯楽嗜好費、その他日常費の増加は、インターネット接続費、携帯電話通信費が関連している可能性がある。表10に所属・学年別の仕送りと就学の関係を示した。仕送りのみで就学が可能であるのは、2009年度と同様半数以下であった。2009年度より増加が見られたのは、家庭からの仕送りなしであった。

表11に所属・学年別のアルバイトの頻度と行った期間を示す。1年生はアルバイトをしていない学生が多かったが、2009年度は半数以上の1年生がしていなかったにもかかわらず、今回の調査では約60%の1年生がアルバイトをしており、1年生でもアルバイトをしている学生が増加していた。特に2、3年生では半数以上が「長期休暇中も授業期間中も」経常的に就労しており、2009年度よりアルバイト就労率が若干増加していた。表12には就労したアルバイトの職種を示した。2009年の調査と同様に、一般飲食店と居酒屋等で働いている学生が多かったが、スーパーマーケット・大型店のレジ等に就労した割合は減少していた(表13)。社会全体の不景気により、一般主婦層がレジ打ちのパートに進出し、学生が締め出されている可能性も考慮される。アルバイト収入の主な用途は、①娯楽・嗜好代、②食費、③住居・光熱費であり、2009年度調査とほぼ同じであった(表14)。

表15に所属・学年別の1週間の生活時間を示す。2009年度の調査と大きな差はなかったが、授業の予習・復習、大学以外の学習の時間は増加していた。授業の予習・復習については2009年度調査では1日当たり1時間未満であったが、今回の調査では1日当たり1時間以上に増加していた(表16)。また、大学以外の学習時間、サークル活動、アルバイト就労時間も増加がみられた。

表17に所属・学年別の家庭の年間所得を示す。2009年度調査では400~800万円が最も多かったのに対し、今回の調査では400万円以下が最も多く有意な差がみられた(表18)。主たる家計支持者の世帯区分の比率が異なることから、このことと関連している可能性もある(表19)。仕送り金額の減少がみられないことを考えると、家庭の負担割合は増加しているものと思われる。400万円以下は授業料減免の対象とされていることから、この層の増加は大学の運営上重大な問題となる可能性がある。2011年3月に発生した東日本大震災の影響も考慮されることから、今後の推移を見守る必要がある。

大学の施設設備への要望を自由記載で質問した。食堂、売店、ATMといった福利厚生施設の充実、学生用パソコンの整備、大学の開放時間といった自主学習の環境整備への要望が目立った。

4. 結論

- 1) 回収率が低く、全学生の実態を反映している精度は、2009年度調査より劣る調査となった。
- 2) 家庭からの仕送りは2009年度調査と大きな変化はなかった。
- 3) 仕送り以外の収入も2009年度調査と大きな変化はなかったが、貯蓄を取り崩しているという学生は増加していた。
- 4) 家庭からの仕送りがない学生が約30%で、2009年度調査の約20%より増加していた。
- 5) 学生一人当たりの以下月の支出額は約10万円で、2009年度調査と大きな差はなかったが、項目ごとに見ると増加している項目が多かった。
- 6) 支出の中でも、就学代、食費、住居・光熱費、娯楽嗜好費、その他日常費が増加していた。娯楽嗜好費、その他日常費の増加は、IT接続費、携帯電話通信費が関連している可能性がある。

- 7) 2009年度調査同様、半数以上の学生が家庭からの仕送りのみでは生活できず、奨学金やアルバイト賃金で、その穴埋めをしていた。
- 8) アルバイト就業割合は2009年度調査より増加していた。
- 9) 家庭の年間所得は2009年度より減少していた。仕送り金額の減少がみられないことを考えると、家庭の負担割合は増加しているものと思われる。
- 10) 2009年度調査に比べ、学生の家庭の経済状態は、より厳しさを増していると考えられる。
- 11) 授業の予習・復習など学生の自主学習時間は増加しており、1日当たり1時間以上確保されていた。
- 12) 大学の施設設備への要望では、福利厚生施設の充実と、自主学習の環境整備の要望が目立った。

5. 謝辞

本調査にご協力いただきました名寄市立大学の学生の皆さんに深く感謝申し上げます。

表1. 在籍区分別・学年別・性別の調査対象者数と回答数

対象者数		学年				合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	
保健福祉学部	男性	26	21	34	28	109
	女性	115	126	118	118	477
短期大学部	男性	1	2			3
	女性	52	54			106
計		194	203	152	146	695

回答者数		学年				合計	回収率(%)
		1年生	2年生	3年生	4年生		
保健福祉学部	男性	3	4	3	12	22	20.2
	女性	36	34	25	47	142	29.8
	無回答	0	1	0	0	1	
短期大学部	男性	0	0			0	0.0
	女性	13	4			17	16.0
計		52	43	28	59	182	26.2

表2. 調査年度と回答者数

		人数(%)		$P(\chi^2\text{-test})$
		保健福祉学部	短期大学部	
調査年度	2009	444(82.8)	92(17.2)	0.011
	2012	165(90.7)	17(9.3)	

		人数(%)				$P(\chi^2\text{-test})$
		学年				
		1年生	2年生	3年生	4年生	
調査年度	2009	178(33.2)	192(35.8)	133(24.8)	33(6.2)	<0.001
	2012	52(28.6)	43(23.6)	28(15.4)	59(32.4)	

表3. 所属・学年別住居形態

	人数(%)			
	学年			
	1年生	2年生	3年生	4年生
自宅	0(0.0)	1(2.6)	3(10.7)	6(10.2)
学生寮	5(12.8)	3(7.7)	3(10.7)	2(3.4)
保健福祉学部				
下宿	5(12.8)	11(28.2)	2(7.1)	4(6.8)
アパート	29(74.4)	24(61.5)	20(71.4)	47(79.7)
その他	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
短期大学部				
自宅	2(15.4)	0(0.0)		
学生寮	0(0.0)	1(25.0)		
下宿	4(30.8)	1(25.0)		
アパート	7(53.8)	2(50.0)		
その他	0(0.0)	0(0.0)		

表4. 所属・学年別の高校卒業時の居住地

		人数(%)			
		学年			
		1年生	2年生	3年生	4年生
保健福祉学部	道内	27(69.2)	33(84.6)	20(71.4)	37(62.7)
	道外	12(30.8)	6(15.4)	8(28.6)	22(37.3)
短期大学部	道内	13(100.0)	3(75.0)		
	道外	0(0.0)	1(25.0)		

表5. 所属・学年別の収入状況

収入(千円)		人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	
							学年
保健福祉学部	家庭からの給付・仕送り	1年生	34	35.4	29.8	0	100
		2年生	39	36.7	45.5	0	200
		3年生	26	47.2	37.5	0	100
		4年生	59	35.3	35.6	0	200
	奨学金等公的援助	1年生	34	50.3	39.4	0	150
		2年生	35	42.3	36.9	0	150
		3年生	25	39.8	37.9	0	110
		4年生	58	37.7	41.6	0	160
	定期的アルバイトによる収入	1年生	32	16.9	17.3	0	50
		2年生	37	37.5	28.4	0	105
		3年生	25	28.7	33.5	0	144
		4年生	58	13.1	20.7	0	80
	貯蓄の取り崩し	1年生	31	16.8	38.9	0	200
		2年生	34	9.6	15.7	0	50
		3年生	23	7.8	15.4	0	50
		4年生	57	14.5	24.5	0	100
その他の臨時収入	1年生	30	2.7	6.8	0	30	
	2年生	34	4.9	18.3	0	100	
	3年生	23	9.6	41.6	0	200	
	4年生	57	1.5	4.7	0	30	
計	1年生	27	117.1	61.2	0	310	
	2年生	34	125.7	53.8	13	220	
	3年生	21	121.0	65.4	10	280	
	4年生	56	101.5	56.3	0	280	
短期大学部	家庭からの給付・仕送り	1年生	10	37.7	29.3	0	97
		2年生	3	60.3	17.0	50	80
	奨学金等公的援助	1年生	9	28.3	44.9	0	120
		2年生	3	30.0	26.5	0	50
	定期的アルバイトによる収入	1年生	9	26.1	65.6	0	200
		2年生	4	15.0	23.8	0	50
	貯蓄の取り崩し	1年生	11	10.5	26.7	0	90
		2年生	3	3.3	5.8	0	10
	その他の臨時収入	1年生	8	0.6	1.8	0	5
		2年生	2	0.0	—	0	0
計	1年生	8	80.0	65.5	10	230	
	2年生	2	115.5	20.5	101	130	

表6. 調査年度と収入(有意な差があった項目)

	調査年度	人数	平均値	標準偏差	P(t-test)
貯蓄の取り崩し	2009	504	6.1	19.6	0.004
	2012	159	12.4	25.3	
計	2009	504	98.2	45.2	0.011
	2012	148	111.7	58.7	

表7. 家からの仕送りの所属・学年別度数分布

		家からの仕送り				合計	再掲 仕送り0千円
		0～29千円	30～59千円	60～99千円	10千円～		
保健福祉学部	人数	65	55	22	18	160	49
	所属の%	40.60%	34.40%	13.80%	11.30%	100.00%	30.60%
短期大学部	人数	4	6	3	0	13	1
	所属の%	30.80%	46.20%	23.10%	0.00%	100.00%	7.70%
合計	人数	69	61	25	18	173	50
	所属の%	39.90%	35.30%	14.50%	10.40%	100.00%	28.90%

		家からの仕送り				合計	再掲 仕送り0千円
		0～29千円	30～59千円	60～99千円	10千円～		
1年生	人数	16	19	6	3	44	8
	学年の%	36.40%	43.20%	13.60%	6.80%	100.00%	18.20%
2年生	人数	19	11	6	6	42	17
	学年の%	45.20%	26.20%	14.30%	14.30%	100.00%	40.50%
3年生	人数	10	6	6	6	28	7
	学年の%	35.70%	21.40%	21.40%	21.40%	100.00%	25.00%
4年生	人数	24	25	7	3	59	18
	学年の%	40.70%	42.40%	11.90%	5.10%	100.00%	30.50%
合計	人数	69	61	25	18	173	50
	学年の%	39.90%	35.30%	14.50%	10.40%	100.00%	28.90%

表8. 所属・学年別の支出状況

支出(千円)		人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	
保健福祉学部	就学代(教科書・文具購入費等)	1年生	31	25.1	20.6	0	75
		2年生	38	24.0	27.2	0	100
		3年生	27	20.3	30.6	0	150
		4年生	58	16.1	41.7	0	300
	課外活動費 (サークル、ゼミ、ボランティア等)	1年生	30	5.3	8.3	0	32
		2年生	37	8.2	12.3	0	40
		3年生	27	3.8	8.4	0	32
		4年生	58	1.4	3.7	0	20
	通学費 (バス・JR等定期、自動車維持費)	1年生	28	0.0	0.2	0	1
		2年生	35	0.3	1.0	0	5
		3年生	24	2.6	8.3	0	40
		4年生	58	2.8	10.8	0	70
	食費(自宅・下宿は外食費)	1年生	39	14.6	6.5	5	30
		2年生	39	14.2	9.0	0	40
		3年生	28	19.3	8.6	2	40
		4年生	58	20.6	15.3	2	100
住居・光熱水費	1年生	35	27.1	18.5	0	65	
	2年生	39	36.2	23.4	0	70	
	3年生	25	30.9	17.7	0	55	
	4年生	54	33.3	17.5	0	62	
保健衛生費 (診療代、薬代、理美容代)	1年生	28	5.3	9.6	0	50	
	2年生	37	5.9	8.6	0	50	
	3年生	27	9.4	11.0	0	49	
	4年生	59	6.9	14.3	0	100	
娯楽・嗜好費(IT接続費を含む)	1年生	32	10.4	13.0	0	70	
	2年生	36	11.4	9.9	0	50	
	3年生	28	16.1	16.6	0	70	
	4年生	59	10.5	9.8	0	50	
その他日常費 (携帯電話通信費を含む)	1年生	30	5.2	9.3	0	50	
	2年生	36	5.2	7.5	0	30	
	3年生	28	7.3	9.8	0	50	
	4年生	59	7.0	12.2	0	70	
計	1年生	26	86.2	40.7	16	157	
	2年生	34	103.1	45.4	21	211	
	3年生	21	96.8	48.1	20	215	
	4年生	51	102.0	56.9	30	385	
短期大学部	就学代(教科書・文具購入費等)	1年生	10	26.7	19.7	1	50
		2年生	3	18.0	27.7	2	50
	課外活動費 (サークル、ゼミ、ボランティア等)	1年生	9	14.4	15.9	0	40
		2年生	4	0.8	1.0	0	2
	通学費 (バス・JR等定期、自動車維持費)	1年生	10	3.7	8.8	0	27
		2年生	3	0.0	—	0	0
	食費(自宅・下宿は外食費)	1年生	11	9.2	7.5	1	20
		2年生	3	14.3	8.1	5	20
	住居・光熱水費	1年生	10	28.6	23.2	0	55
		2年生	3	46.0	16.8	33	65
	保健衛生費 (診療代、薬代、理美容代)	1年生	11	9.3	13.4	0	40
		2年生	2	2.5	0.7	2	3
	娯楽・嗜好費(IT接続費を含む)	1年生	8	17.4	27.1	0	80
		2年生	3	7.0	3.6	3	10
	その他日常費 (携帯電話通信費を含む)	1年生	10	4.9	8.1	0	25
		2年生	3	4.0	5.3	0	10
計	1年生	8	115.0	51.8	53	209	
	2年生	2	108.5	37.5	82	135	

表9. 調査年度と支出（有意な差があった項目）

	調査年度		平均値	標準偏差	P (t-test)
	人数				
就学代(教科書・文具購入費等)	2009	506	10.3	17.8	<0.001
	2012	167	20.9	32.1	
食費(自宅・下宿は外食費)	2009	506	12.8	10.7	<0.001
	2012	178	16.9	11.4	
住居・光熱水費	2009	507	23.1	19.6	<0.001
	2012	166	32.3	19.7	
娯楽・嗜好費(IT接続費を含む)	2009	506	8.4	9.4	0.002
	2012	166	11.9	13.0	
その他日常費(携帯電話通信費を含む)	2009	506	4.3	6.1	0.027
	2012	166	6.1	10.0	
計	2009	506	72.0	38.2	<0.001
	2012	142	99.4	49.5	

表10. 所属・学年別の仕送りと就学

		人数(%)			
		学年			
		1年生	2年生	3年生	4年生
保健福祉学部	仕送りのみで就学可能	23 (63.9)	14 (37.8)	11 (40.7)	22 (37.9)
	仕送りのみでは就学が不自由	5 (13.9)	7 (18.9)	8 (29.6)	14 (24.1)
	仕送りのみでは就学継続困難	0 (0.0)	2 (5.4)	2 (7.4)	9 (15.5)
	仕送りなし	8 (22.2)	14 (37.8)	6 (22.2)	13 (22.4)
短期大学部	仕送りのみで就学可能	8 (61.5)	1 (33.3)		
	仕送りのみでは就学が不自由	1 (7.7)	1 (33.3)		
	仕送りのみでは就学継続困難	1 (7.7)	0 (0.0)		
	仕送りなし	3 (23.1)	1 (33.3)		

表11. 所属・学年別のアルバイトの頻度(最近1年間)と行った期間

		人数(%)			
		学年			
		1年生	2年生	3年生	4年生
保健福祉学部	全くしない	17 (43.6)	2 (5.1)	8 (28.6)	9 (15.5)
	長期休暇のみ	2 (5.1)	2 (5.1)	2 (7.1)	5 (8.6)
	授業期間中に臨時的に	6 (15.4)	5 (12.8)	3 (10.7)	9 (15.5)
	授業期間中に経常的に	10 (25.6)	5 (12.8)	1 (3.6)	10 (17.2)
	長期期間中も授業期間中も	4 (10.3)	25 (64.1)	14 (50.0)	25 (43.1)
短期大学部	全くしない	5 (38.5)	0 (0.0)		
	長期休暇のみ	3 (23.1)	0 (0.0)		
	授業期間中に臨時的に	1 (7.7)	0 (0.0)		
	授業期間中に経常的に	4 (30.8)	0 (0.0)		
	長期期間中も授業期間中も	0 (0.0)	4 (100.0)		

表12. 所属・学年別のアルバイトの職種

		人数(学年の%)			
		学年			
		1年生	2年生	3年生	4年生
家庭教師	保健福祉学部	2 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (6.9)
	短期大学部	1 (9.1)	0 (0.0)		
一般飲食店	保健福祉学部	9 (26.5)	19 (48.7)	4 (14.8)	27 (46.6)
	短期大学部	2 (18.2)	3 (75.0)		
居酒屋等	保健福祉学部	4 (11.8)	12 (30.8)	8 (29.6)	16 (28.1)
	短期大学部	2 (20.0)	0 (0.0)		
新聞・チラシ等配布	保健福祉学部	1 (2.9)	1 (2.6)	2 (7.4)	0 (0.0)
	短期大学部	0 (0.0)	0 (0.0)		
スーパー・大型店レジ等	保健福祉学部	1 (2.9)	7 (17.9)	3 (11.1)	4 (6.9)
	短期大学部	1 (10.0)	0 (0.0)		
コンビニ店員	保健福祉学部	4 (11.8)	3 (7.7)	1 (3.7)	3 (5.2)
	短期大学部	1 (10.0)	1 (33.3)		
ホテル従業員	保健福祉学部	1 (2.9)	3 (7.7)	0 (0.0)	3 (5.2)
	短期大学部	0 (0.0)	0 (0.0)		
農産物収穫・選別	保健福祉学部	6 (17.6)	8 (20.5)	7 (25.0)	5 (8.6)
	短期大学部	2 (20.0)	0 (0.0)		
パチンコ等娯楽施設店員	保健福祉学部	2 (5.9)	0 (0.0)	2 (7.4)	1 (1.7)
	短期大学部	0 (0.0)	0 (0.0)		
その他	保健福祉学部	7 (20.6)	10 (25.6)	7 (25.0)	16 (27.6)
	短期大学部	2 (20.0)	0 (0.0)		

表13. 調査年度とアルバイトの職種（有意な差があった項目）

調査年度	人数(%)		P (χ^2 -test)
	あり	なし	
2009	107(25.1)	319(74.9)	<0.001
2012	16(9.4)	155(90.6)	

表14. 所属・学年別のアルバイト収入の使途: 最も多いもの

	人数(%)				
	学年				
	1年生	2年生	3年生	4年生	
保健福祉学部	就学代	1 (3.7)	0 (0.0)	1 (4.8)	6 (11.3)
	課外活動費	2 (7.4)	1 (2.7)	0 (0.0)	1 (1.9)
	通学費	1 (3.7)	1 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	食費	5 (18.5)	8 (21.6)	6 (28.6)	14 (26.4)
	住居・光熱費	0 (0.0)	3 (8.1)	1 (4.8)	8 (15.1)
	保健衛生費	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	娯楽・嗜好代	14 (51.9)	23 (62.2)	12 (57.1)	23 (43.4)
	その他日常費	4 (14.8)	1 (2.7)	1 (4.8)	1 (1.9)
短期大学部	就学代	0 (0.0)	0 (0.0)		
	課外活動費	0 (0.0)	1 (33.3)		
	通学費	0 (0.0)	0 (0.0)		
	食費	0 (0.0)	1 (33.3)		
	住居・光熱費	1 (12.5)	1 (33.3)		
	保健衛生費	0 (0.0)	0 (0.0)		
	娯楽・嗜好代	6 (75.0)	0 (0.0)		
	その他日常費	1 (12.5)	0 (0.0)		

表15. 所属・学年別の1週間の生活時間

		人数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	
保健福祉学部	大学の授業	1年生	35	25.2	11.6	3	60
		2年生	38	30.2	13.8	17	80
		3年生	25	30.2	14.3	15	60
		4年生	49	17.4	13.9	0	45
	大学の授業の予習・復習	1年生	39	10.6	5.3	0	30
		2年生	38	10.1	9.4	1	55
		3年生	28	12.2	6.1	2	32
		4年生	58	12.4	8.5	0	56
	大学以外の学習(模試、資格免許、芸事)	1年生	37	10.7	12.0	0	41
		2年生	39	8.0	11.6	0	44
		3年生	28	10.1	11.2	0	44
		4年生	58	13.2	10.6	0	42
	文化・体育等サークル活動	1年生	32	8.9	9.1	0	40
		2年生	37	7.8	10.8	0	48
		3年生	24	8.0	9.1	0	30
		4年生	55	2.9	5.2	0	20
アルバイト就労時間	1年生	16	9.7	8.1	0	25	
	2年生	22	15.2	7.1	0	30	
	3年生	11	13.0	24.0	0	81	
	4年生	23	6.4	8.2	0	30	
短期大学部	大学の授業	1年生	12	30.4	5.8	18	38
		2年生	3	20.3	5.8	17	27
	大学の授業の予習・復習	1年生	13	9.2	3.4	4	13
		2年生	4	7.0	5.0	1	12
	大学以外の学習(模試、資格免許、芸事)	1年生	12	15.1	16.9	0	44
		2年生	3	7.7	6.8	0	13
	文化・体育等サークル活動	1年生	10	4.8	4.9	0	12
		2年生	4	7.5	8.7	0	20
	アルバイト就労時間	1年生	5	4.4	4.6	0	10
		2年生	2	17.0	9.9	10	24

表16. 調査年度と1週間の生活時間(有意な差があった項目)

	調査年度	人数	平均値	標準偏差	P (t-test)
大学の授業の予習・復習	2009	471	6.0	16.9	<0.001
	2012	180	11.1	7.4	
大学以外の学習(模試、資格免許、芸事)	2009	471	1.9	9.3	<0.001
	2012	177	11.1	11.7	
文化・体育等サークル活動	2009	471	4.2	6.7	0.006
	2012	162	6.2	8.5	
アルバイト就労時間	2009	471	7.9	9.5	0.025
	2012	79	10.6	11.7	

表17. 所属・学年別の家庭の年間所得総額

		人数(%)			
		学年			
		1年生	2年生	3年生	4年生
保健福祉学部	400万円以下	7 (50.0)	7 (33.3)	6 (54.5)	7 (31.8)
	400~800万円	2 (14.3)	5 (23.8)	2 (18.2)	7 (31.8)
	800万円以上	1 (7.1)	1 (4.8)	0 (0.0)	2 (9.1)
	不明	4 (28.6)	8 (38.1)	3 (27.3)	6 (27.3)
短期大学部	400万円以下	3 (50.0)	1 (50.0)		
	400~800万円	1 (16.7)	0 (0.0)		
	800万円以上	0 (0.0)	0 (0.0)		
	不明	2 (33.3)	1 (50.0)		

表18. 調査年度と家庭の年間所得総額

		人数(%)			P (Fisherの正確確率検定)
		年鑑所得総額			
		400万円以下	400~800万円	800万円以上	
調査年度	2009	109 (38.2)	156 (54.7)	20 (7.0)	0.009
	2012	31 (59.6)	17 (32.7)	4 (7.7)	

表19. 調査年度と主たる家計支持者の世帯区分

		人数(%)				P (χ ² -test)
		世帯区分				
		会社員・公務員	農林水産業	自営業	その他	
調査年度	2009	351 (69.6)	30 (6.0)	76 (15.1)	47 (9.3)	0.034
	2012	52 (62.7)	10 (12.0)	8 (9.6)	13 (15.7)	

参考資料

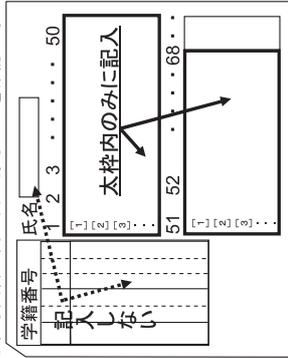
2012年度 学生生活実態調査

この調査は学生の皆さんの生活支援をするため、学生部で皆さんの生活の実態を把握する目的で実施するものです。調査結果は、皆さんの生活を支援するために活用しますので、ぜひ、ご協力ください。なお、調査結果は皆さんの生活支援以外の目的では、一切使用しませんので、ありのままをできるだけ正確にご回答ください。
(名寄市立大学学生部)

回答は別添のマークシートに鉛筆またはシャープペンシルで記入してください(ボールペンは不可)。マークシートに印をつける際には、下に示すように十分な幅しかりと塗りつぶしてください。また、定規などを使って質問番号と対応する回答が同一列であることを確認しながら慎重に記入してください。
回答を修正するときは丁寧にケジメで消してください。

例： ② → ●

カッコの幅に合わせてしかり塗りつぶしてください。マークシートの本枠で示す範囲のみに記入して下さい。



この調査は無記名の調査です。

学籍番号・氏名欄には記入しないでください。

回答が終わったたら、マークシートのみを事務局前の回収箱に提出してください。

【提出期限：6月30日まで】

以下の質問で、最も該当する番号を 一つだけ 塗りつぶしてください。

I. あなたの基本項目についての質問です。

1 在籍区分は	① 保健福祉学部(4年制) ② 短期大学部(児童学科)
2 学年は	① 1年 ② 2年 ③ 3年 ④ 4年
3 性別は	① 男性 ② 女性
4 年齢は	4 5 18歳なら回答欄4の1、回答欄5の8をマーク 22歳なら回答欄4の2、回答欄5の2をマーク
6 住居形態は	① 自宅 ② 学生寮 ③ 下宿 ④ アパート ⑤ その他 (※下宿:基本的な食事が出る ※アパート:食事が含まれていない)
7 高校卒業時の居住地は	① 道内 ② 道外

質問は開いたページに続きます

II. あなたの経済・生活状況についての質問です。

※ 5月7日～6月6日の状況を参考に、1ヶ月単位のおおよその金額で答えてください。
※ 家庭から直接、大学や業者へ振り込まれている場合は、収入・支出とは見なしません。

○収入額		8 9 10 (千円)	125,000円なら 回答欄8の1、9の2 10の5をマーク
8	家庭からの給付・仕送り額は(千円)		
9			
10			
11 12 13 (千円)			
11	奨学金等公的援助は(千円)		
12			
13			
14 15 16 (千円)			
14	定期的アルバイトによる収入は(千円)		
15			
16			
17 18 19 (千円)			
17	貯蓄の取り崩しは(千円)		
18			
19			
20 21 22 (千円)			
20	その他の臨時収入は(千円)		
21			
22			
○支出額		23 24 25 (千円)	
23	就学代は(千円) (教科書・文具購入費等)		
24			
25			
26 27 28 (千円)			
26	課外活動費は(千円) (大学サークル・自主ゼミ・ボランティア 等:個人的な趣味の費用は 別記)		
27			
28			
29 30 31 (千円)			
29	通学費は(千円) (バス・JR 等の定期代等、自動車等の 維持費を含む)		
30			
31			
32 33 34 (千円)			
32	食費は(千円) (自宅通学者・下宿の人は、外食費を 記入)		
33			
34			

質問は裏のページに続きます

○支出額(続き)			
35	住居・光熱水費は(千円)	35	36 37 (千円)
36	(自宅通学者は記入しない)		000 円
37			
38	保健衛生費は(千円)	38	39 40 (千円)
39	(診療代・薬代・理髪美容代等を含む)		000 円
40			
41	娯楽・嗜好(し)好代は(千円)	41	42 43 (千円)
42	(自払いによるインターネット接続料を含む)		000 円
43			
44	その他の日常費は(千円)	44	45 46 (千円)
45	(自払いによる携帯電話等の通信費を含む)		000 円
46			
○経済・生活状況(アルバイトなど)について			
47	家庭からの仕送りと就学の関係	① 家庭からの仕送りのみで就学が可能 ② 家庭からの仕送りのみでは就学に不自由がある ③ 家庭からの仕送りのみでは就学の継続が困難 ④ 家庭からの仕送りはない ⑤ 全くなかった ⑥ 長期休暇中のみした ⑦ 授業期間中に臨時的にした ⑧ 授業期間中に経時的にした ⑨ 長期期間中も授業期間中もした	
48	アルバイトの実施状況(これまでの1年以内)		
49	アルバイトの従業職種(これまでの1年以内に従事したもので)	① 家庭教師等 ② 一般飲食店 ③ 居酒屋等飲酒を伴う店 ④ 新聞・チラシ等の配布 ⑤ スーパー・大型店のレジ等 ⑥ コンビニ店員 ⑦ ホテル従業員 ⑧ 農産品収穫・選別 ⑨ パチンコ・カラオケ等娯楽施設店員 ⑩ その他	



アルバイト収入の主な使い道は:質問23~46の支出額の項目			
① 就学代	② 課外活動費	③ 通学費	④ 食費
⑤ 住居・光熱水費	⑥ 保健衛生費	⑦ 娯楽・嗜好代	⑧ その他の日常費
から、多く費やした上位3項目を選んでください。			
59:最も多く費やした	59	60	61
60:次に多く費やした			
61:1~3番目に多く費やした			
食費→就学代→その他なら59の4、60の1、61の8をマーク			
○生活時間			
授業期間の1週間の総計で記入してください。			
小数点以下は四捨五入して、時間単位で答えてください。			
62	大学の授業	62	63 時間
63			34時間なら62の3、63の4をマーク
64	大学の授業の予習・復習等	64	65 時間
65			
66	大学以外の学習	66	67 時間
67	(模試・各種資格免許の取得・芸事等)		
68	文化・体育などのサークル活動	68	69 時間
69			
70	アルバイトの就労時間	70	71 時間
71			
Ⅲ. あなたの家庭の状況についての質問です。			
72	主な家計支持者は	① 親 ② その他の親族等 ③ 学生本人	
73	主たる家計支持者の年齢は	① 44歳以下 ② 45~54歳 ③ 55歳以上	
74	主たる家計支持者の世帯区分は	① 会社勤務・公務員 ② 農林水産業 ③ 自営業 ④ その他	
75	家庭の年間所得総額は	① 400万円以下 ② 400万~800万円 ③ 800万円以上 ④ 不明	
76	高校・専門学校・大学(短大・大学院を含む)に在学する兄弟姉妹の数(定職を持つ兄弟姉妹は数に入れないでください)	具体的数字をマーク	
マークシートの裏面:本学の施設・設備に希望があれば裏面に具体的に記載してください。			

以上です。ご協力ありがとうございます。